

たてしん通信

013号



7月25日、「たてしん経営者会」と城南信用金庫の「未来塾」の交流会が館山信用金庫本店で行われました。地域を越えた交流を通して、新たなビジネスチャンスを探ろうと初めて企画されました。交流会後には、南房総地域のテングサ卸売業者のカフェ兼倉庫や金属加工業者、古民家宿泊施設、道の駅グリーンファーム館山の視察を行いました。

『千葉県マスコットキャラクター チーバくん』



『千葉県マスコットキャラクター チーバくん』



令和6(2024)年10月15日



地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 933号

たてしん経営塾in上総が開講しました！！



たてしん経営塾とは？

「たてしん経営塾」は、館山信用金庫が平成27（2015）年から南房総地域で6期にわたって開講している若手経営者や後継者向けの勉強会で、これまでに177名が受講しています。

昨年度までは南房総地域での開催のみでしたが、木更津商工会議所などの関係機関のご協力もあり、今年度から上総地域でも開催することとなりました。

会計やマーケティングの基礎知識のほか、地域ビジネスのトレンドや地域事業者の事例などから学ぶカリキュラムをご用意しており、参加者同士のディスカッションの機会も多く設けることで、26名の経営者・後継者の方が学びと交流を深めています。

日程	テーマ	内容	講師
8/20	・これからの地域ビジネスとは	・地域の動向と経営環境の変化 ・地域ビジネスの事例 等	千葉県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 上坂理氏
9/17	・管理会計入門	・収益構造の要素別因数分解 ・未来の予測対策シミュレーション 等	奥田経営コンサルティング事務所 代表 奥田剛史氏
10/15	・WEBマーケティングの基礎を学ぶ	・カスタマージャーニーマップ/ペルソナとは ・チャンネル別Webマーケティングのポイント 等	千葉県よろず支援拠点 コーディネーター 伊藤壮平氏
11/19	・地域ビジネスの事例から学ぶ	・地域事例紹介 ・共有グループワーク 等	(株)ごはんクリエイト 代表取締役 野口利一氏 (同)AWATHIRD 代表社員 永森昌志氏 (同)アルコ 代表社員 沖浩志氏
1/21	・ステップアッププラン発表	・自社のプラン発表 ・フィードバック 等	館山信用金庫

天津小湊支店 移転オープン



長谷川孝夫鴨川市長と利田理事長

〒299-5503

鴨川市天津1104 鴨川市役所天津小湊支所内1階

電話番号 04-7094-5070

月曜日・水曜日・金曜日（隔日営業）

窓口営業時間 平日9時～12時

13時～15時（昼休み休業1時間）

ATM

平日8時～21時

土曜9時～17時

9月25日、天津小湊支店が鴨川市役所天津小湊支所内に移転し、窓口業務を開始しました。旧店舗は昭和58（1983）年10月に開設し、開設後40年以上経過しているため建物の老朽化が著しい状況でした。移転先を探すにあたり、鴨川市役所に相談したところ、空きスペースとなっている旧支所長室の紹介があり、地域内での移転は地域住民にとって利便性が維持できるとのことから、鴨川市の許可を受け支所内に移転することができました。

地元の金融機関として、地域の皆さまの暮らしに寄り添い、地域に貢献できるよう引き続き金融サービスの提供に努めて参ります。

たてしん中小企業景況レポート No.27

令和6年(2024年)7月～9月

編集・発行：館山信用金庫
支援部
TEL:0470-29-3015



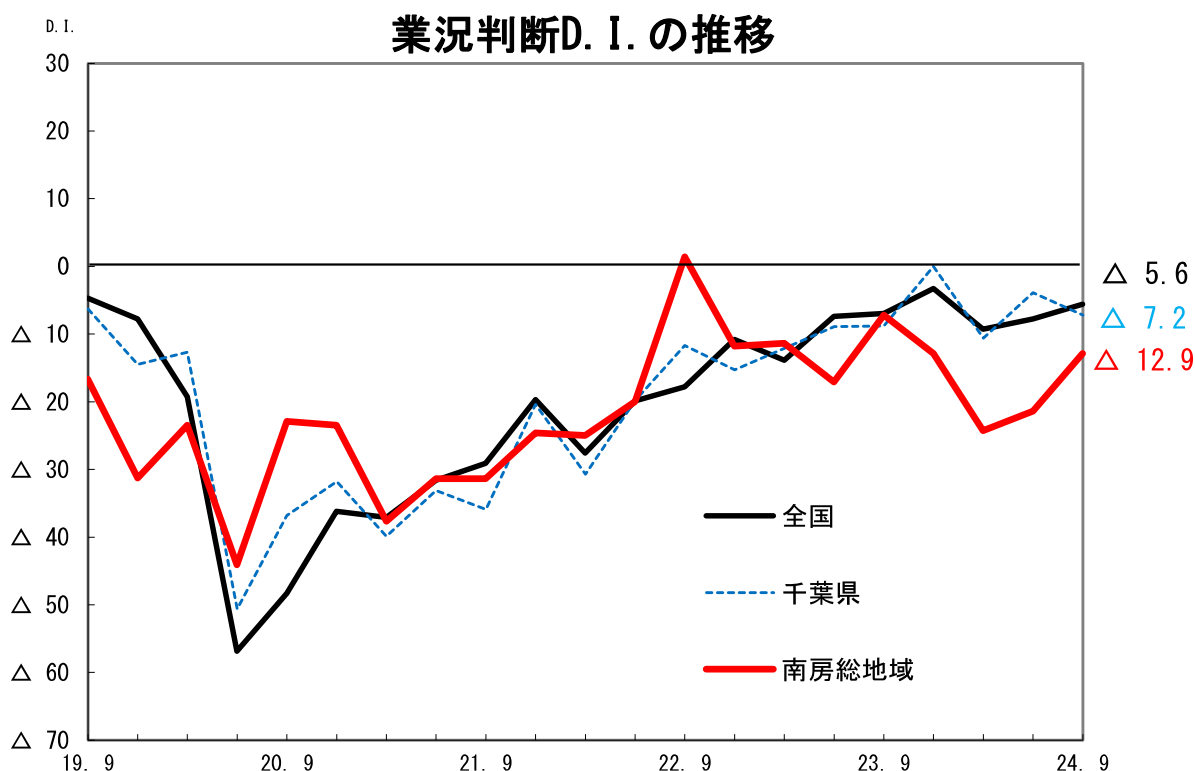
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<概況>

令和6年(2024年)7～9月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 5.6$ 、前期に比べ2.2ポイントの上昇となった。

なお、今回の業況判断D. I. は、前回調査時における今期見通し($\Delta 6.5$)を0.9ポイント上回った。 ※業況判断D.I.(「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)

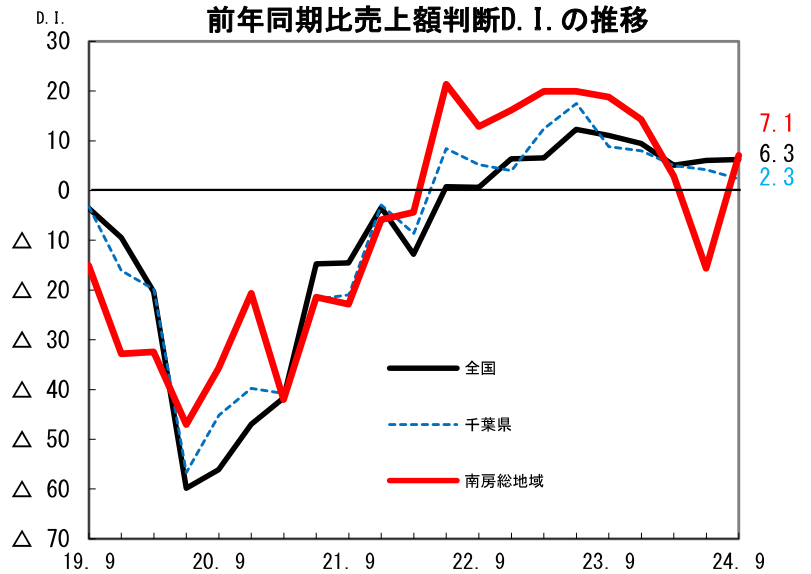


千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 7.2$ と、前期に比べ3.3ポイントの低下となった。
南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 12.9$ と、前期に比べ8.5ポイントの上昇となった。

※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

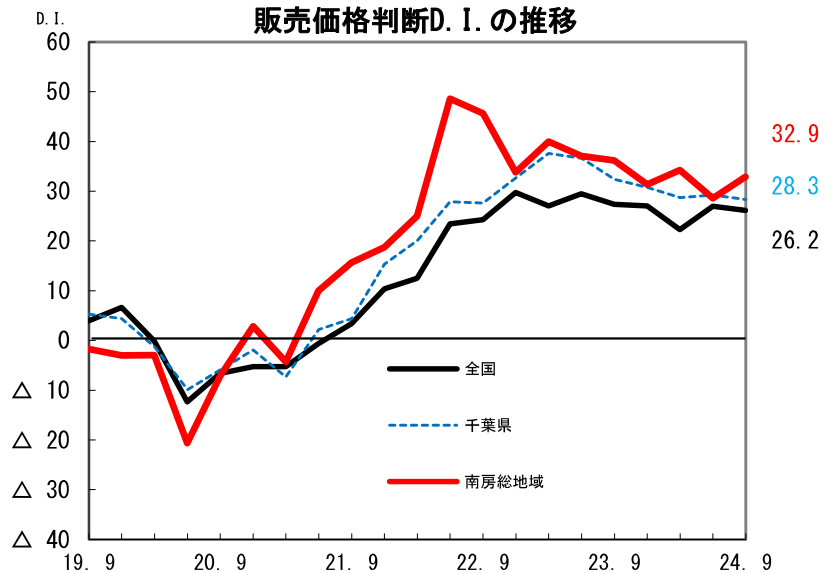
(全国・千葉・南房総)
売上は前年同期比
プラス水準に

全国の前年同期比売上額判断D.I.は6.3となった。
南房総地域では、7.1となり、全国・千葉県・南房総地域でプラス水準となった。
※売上額判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



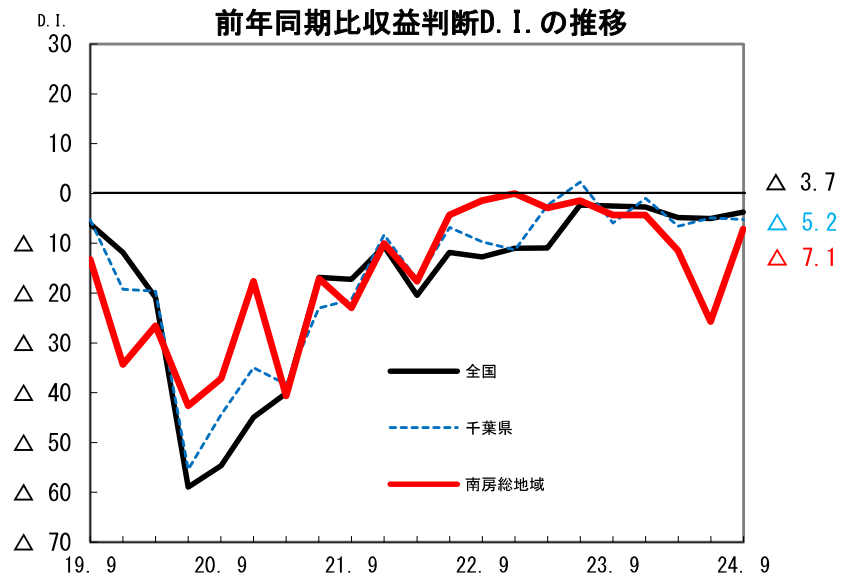
(全国・千葉・南房総)
販売価格は高水準を維持

全国の販売価格判断D.I.は26.2と前期比0.8ポイント低下となった。
南房総地域では、32.9と前期比4.3ポイント増加となった。
※販売価格判断D.I.（「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇）



(全国・千葉・南房総)
収益は前年同期比低下

全国の前年同期比収益判断D.I.は△3.7と依然としてマイナスの水準となった。
南房総地域でも、△7.1と引き続きマイナスの水準となった。
※収益判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）

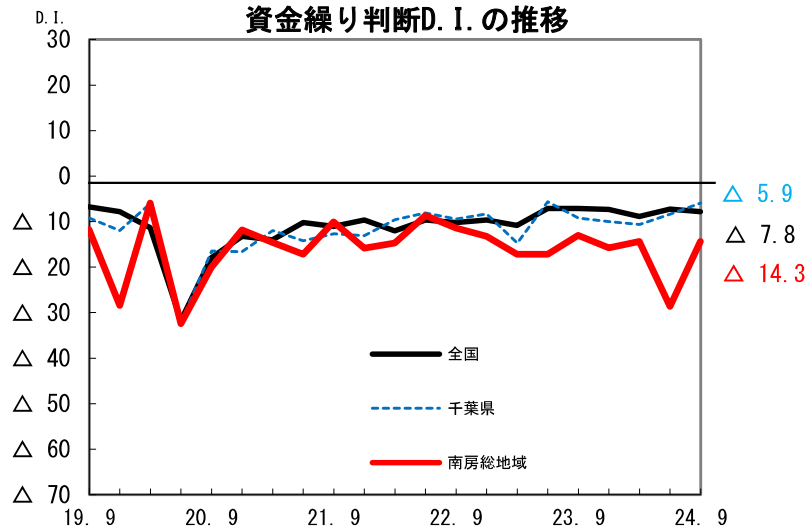


(南房総)
資金繰りはやや厳しい

全国の資金繰り判断D.I.は
△7.8と前期比0.6ポイント低
下となった。

南房総地域では、△14.3と
前期比14.3ポイントの上昇と
なった。

※資金繰り判断D.I.（「楽(らく)」と
回答した割合から「厳しい」と回答
した割合の差、プラスほど良い）

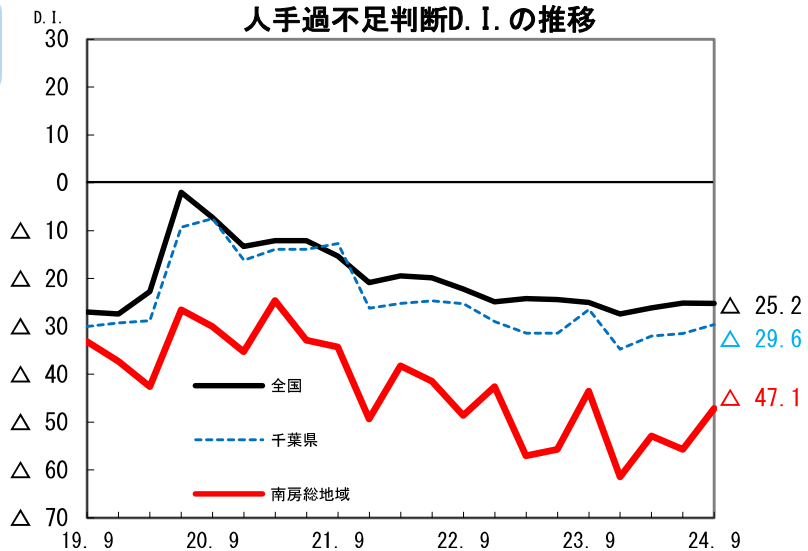


(南房総)
人手不足感は依然として強い

全国の人手過不足判断D.I.
は△25.2と前期比0.1ポイント
拡大し、ほぼ横ばい。

南房総地域では、前期比
8.6ポイント縮小の△47.1と依
然として強い。

※人手過不足判断D.I.（「過剰」と回
答した割合から「不足」と回答した
割合の差、マイナスほど人手不足）

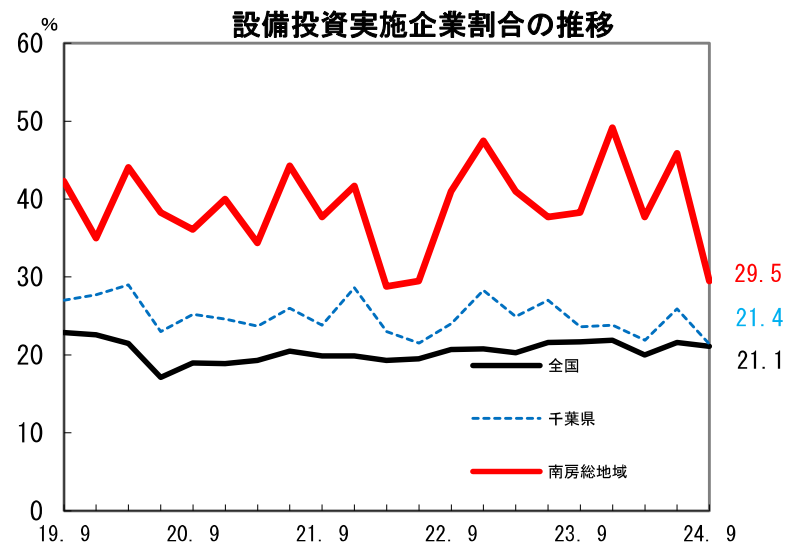


(南房総)
設備投資は低下

全国の設備投資実施企業
割合は21.1%と前期比0.5ポ
イント低下となった。

南房総地域では29.5%と前
期比16.4ポイント低下したが、
高水準を維持している。

※設備投資実施企業割合（設備投
資を実施した企業の割合）



たてしん中小企業景況レポート No. 27 特徴等

(令和6年(2024年)7月~9月)

◆業況判断D. I. ◆

業況判断D. I. を見ると、全国では前期比2.2ポイント上昇の△5.6、千葉県では前期比3.3ポイント低下の△7.2、南房総地域においては前期比8.5ポイント上昇の△12.9となり、**千葉県のみ低下、全国・南房総地域で上昇**となりました。

今回の調査は9月上旬に実施し、日銀の政策金利引き上げから初の調査となりました。結果としては、千葉県のみ低下となりましたが、南房総地域の水準は依然として全国・千葉県より低く、長引く物価高や人手不足の影響が懸念されます。

次期の予想業況判断D. I. を見ると、全国△1.9(今期比+3.7)、千葉県△1.0(今期比+6.2)、南房総地域△18.6(今期比△5.7)と、**全国・千葉県で上昇、南房総地域のみ低下**が見込まれています。

◆南房総地域の業況判断D. I. (前期比)◆

南房総地域の業況判断D. I. の業種別では、卸売業△30.0(前期比+20.0)、小売業0.0(前期比+20.0)、サービス業△21.4(前期比+14.3)、建設業7.7(前期比+7.7)と**6業種中4業種が上昇**となりました。一方、製造業△35.7(前期比±0.0)と横這い、不動産業11.1(前期比△11.1)と低下しました。

◆南房総地域の次期の見込み◆

次期については、**業種別では小売業のみ改善、現在の調査方法となった2018年3月期以降初めてのプラス水準**を見込んでいます。一方、製造業、卸売業、サービス業、建設業、不動産業で低下を見込んでいます。引き続き物価高や長引く人手不足の影響が懸念されます。

◆売上額判断D. I. (前年同期比・南房総地域)◆

南房総地域の売上額判断D. I. はプラスとなりました。業種別で見ると、**卸売業、小売業、サービス業の3業種でプラス**の水準となり、**製造業、建設業、不動産業においてマイナス**の水準となりました。プラス水準となった要因としては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行してから1年が経過し、夏休みシーズンの観光・レジャー需要が回復してきたことにより売上が増加したものと推測されます。

◆収益判断D. I. (前年同期比・南房総地域)◆

南房総地域の収益判断D. I. は、△7.1となりました。業種別で見ると、**製造業7.1、小売業30.0、サービス業7.1**と改善がみられる一方、**卸売業△20.0、建設業△30.8、不動産業△44.4**となりました。卸売業や建設業では燃料費の高騰や人手不足の影響により収益を圧迫したものと推測されます。また、近年好調であった不動産業については、今回調査で前年同期比大幅なマイナスとなっておりますが、リゾート向け等の立地条件の良い物件が一巡したことにより前年同期比マイナスとなったとみており、収益判断の前期比及び次期予想については小幅ながらプラスの回答となっていることから、引続き収益は堅調に推移していると推測されます。

◆資金繰り判断 D. I. (南房総地域)◆

資金繰り判断 D. I. を業種別で見ると、**製造業△21.4 (前期比+35.7)**、**小売業△10.0 (前期比+20.0)**、**サービス業△35.7 (前期比+14.3)**、**建設業△15.4 (前期比+7.7)**、**不動産業 22.2 (前期比+11.1)** と 5 業種で上昇となりました。

一方、**卸売業のみ△10.0 (前期比△10.0)** と低下しました。なお、**全業種の水準は△14.3 と全国△7.8、千葉県△5.9** を下回っています。

◆人手過不足判断 D. I. (南房総地域)・設備投資実施企業割合 (南房総地域)◆

人手過不足判断 D. I. を見ると、全国・千葉県に比べて依然として低水準で推移する中で今期は△47.1 (前期比+8.6) と人手不足感は若干弱まりました。業種別では**全ての業種でマイナスの水準**となっていますが、特に**建設業△100.0 (前期比△15.4)** で現在の調査方法となった 2018 年 3 月期以降**最大の人手不足感**となりました。南房総地域では、職人の高齢化が著しくなっており、人材の確保が急務であると言えます。

一方、設備投資企業割合は 29.5% (前期比△16.4) と**全国・千葉県との乖離幅が小さくなりました**。業種別ではサービス業が 50.0% と最も高くなっており、**設備**の新增設や老朽化した**設備**の入替が多く見られました。

◆特別調査「中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応」について◆

「活用しているキャッシュレス支払手段」については、「クレジットカード」が全国・南房総地域ともに最も多い結果となりました。一方で、「電子マネー (交通系・流通系)」は、全国が 8.2%であったのに対して、南房総地域は 15.2%という結果となりました。また、「活用していない・関係ない」と回答した人が約 3 割いるという結果となり、業種別では建設業・不動産業で多く見られました。

「インターネットや電子メールの利用状況」については、約 8 割が「インターネットを利用しており、自社 HP も開設」と回答した一方で、「インターネットを利用することは考えていない」は約 1 割いるという結果となりました。電子メールについては、全国・南房総地域ともに約 8~9 割が「利用している」という結果となりました。

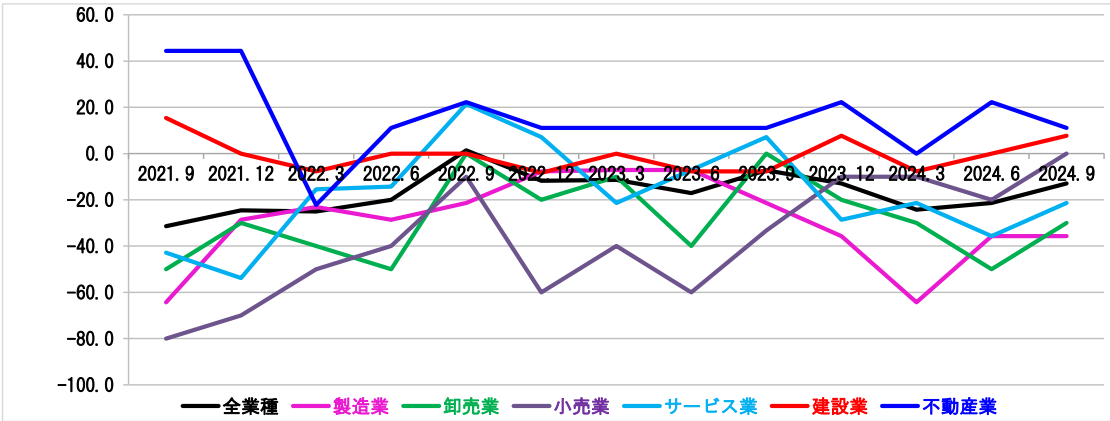
「インターネットバンキングの契約有無とその理由」については、インターネットバンキングの利用状況は、69.2%が「契約している」と回答しました。契約している企業の理由については、「金融機関の店舗に行く必要がない (26.2%)」が最も多く、「社内全体の IT 化・事務負担軽減 (15.4%)」が続きました。一方、契約していない企業の理由については、「利用する機会がない (10.8%)」が最も多くなりました。また、「パスワード管理等操作が面倒」、「セキュリティに不安がある」の合計は全国 6.6% に対して、南房総地域は 13.9%という結果となりました。

中小企業・小規模事業者のデジタル化に関する、様々な悩みにワンストップでお答えするデジタル化支援ポータルサイト (みらデジ) がありますので、ぜひご活用ください。また当金庫では、企業ごとの課題に合わせた IT ツールの紹介・導入支援、IT ツール導入時の補助金申請サポートをして頂ける支援事業者のご紹介も可能ですので、当金庫営業店にお声掛けください。

※本景況レポートは、当金庫営業店ロビーの金利表示ボード画面及び房日新聞電子版 (QRコード掲載) にて動画による解説を行っております。

主要項目時系列表

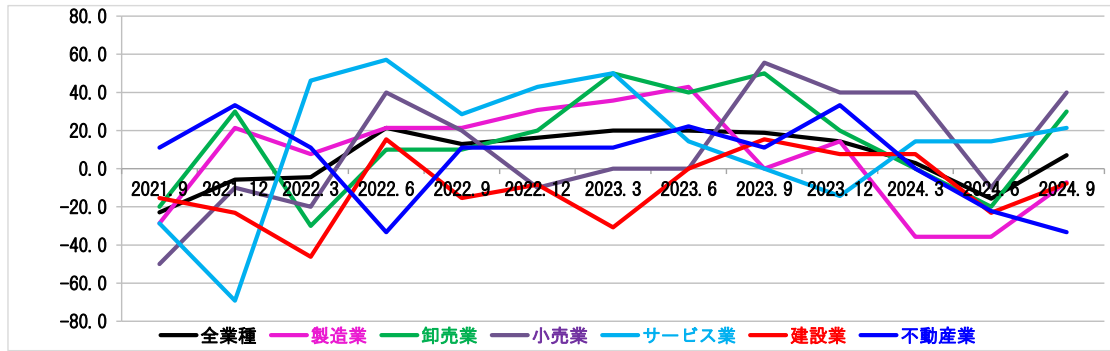
業況判断 D.I



区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
全業種	-31.4	-24.6	-25.0	-20.0	1.4	-11.8	-11.4	-17.1	-7.2	-12.9	-24.3	-21.4	-12.9	-18.6
製造業	-54.3	-28.6	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-7.1	-7.1	-21.4	-35.7	-64.3	-35.7	-35.7	-42.9
卸売業	-50.0	-30.0	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-10.0	-40.0	0.0	-20.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0
小売業	-30.0	-70.0	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-40.0	-60.0	-33.3	-10.0	-10.0	-20.0	0.0	10.0
サービス業	-42.9	-53.8	-15.4	-14.3	-21.4	7.1	-21.4	-7.1	7.1	-28.6	-21.4	-35.7	-21.4	-28.6
建設業	15.4	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.3	0.0	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	0.0	7.7	0.0
不動産業	44.4	44.4	-22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0

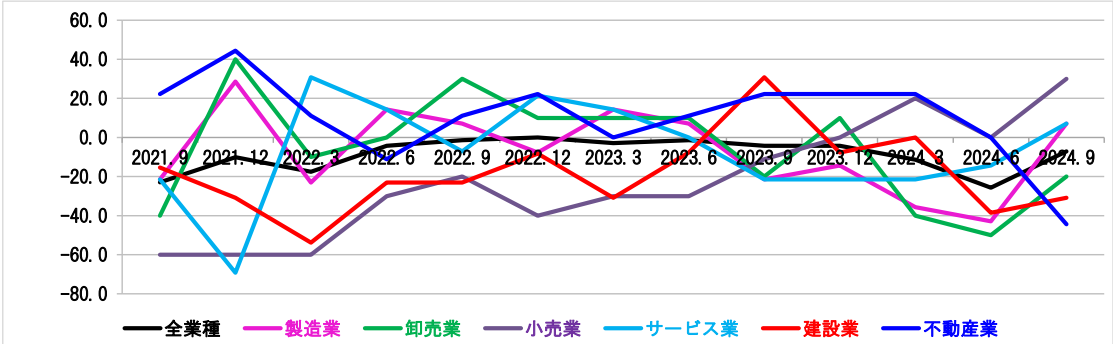
※ 2024.12は、見通しである。

売上額判断 D.I (前年同期比)



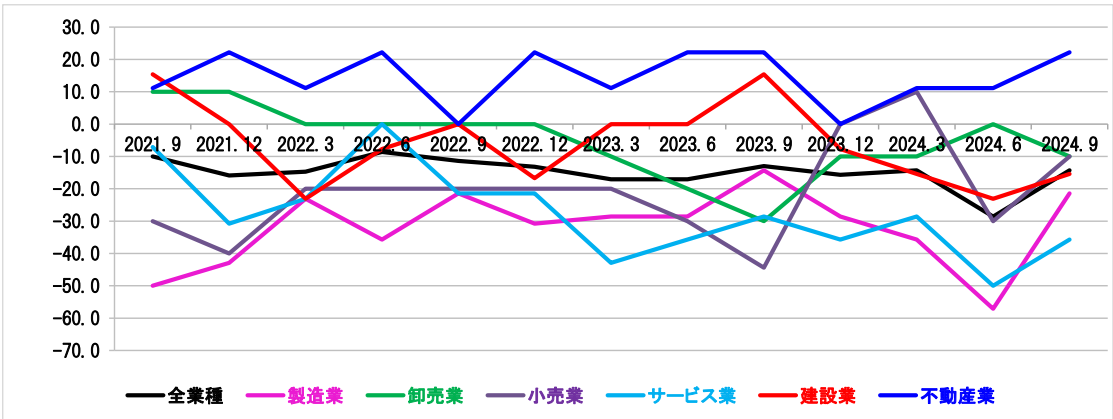
区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9
全業種	-22.9	-5.8	-4.4	21.4	12.9	16.2	20.0	20.0	18.8	14.3	2.9	-15.7	7.1
製造業	-28.6	21.4	7.7	21.4	21.4	30.8	35.7	42.9	0.0	14.3	-35.7	-35.7	-7.1
卸売業	-20.0	30.0	-30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	40.0	50.0	20.0	0.0	-20.0	30.0
小売業	-50.0	-10.0	-20.0	40.0	20.0	-10.0	0.0	0.0	55.6	40.0	40.0	-10.0	40.0
サービス業	-28.6	-69.2	46.2	57.1	28.6	42.9	50.0	14.3	0.0	-14.3	14.3	14.3	21.4
建設業	-15.4	-23.1	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	-30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	-23.1	-7.7
不動産業	11.1	33.3	11.1	-33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	-22.2	-33.3

収益判断 D.I (前年同期比)



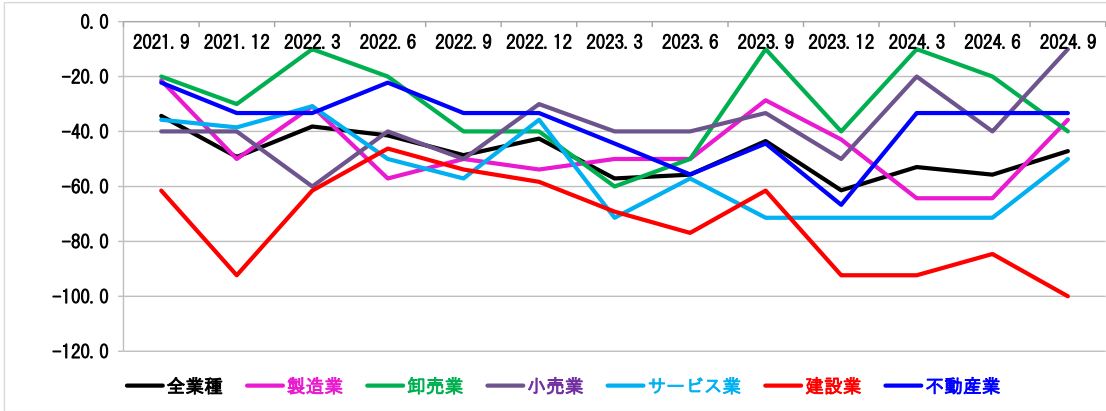
区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9
全業種	-22.9	-10.1	-17.6	-4.3	-1.4	0.0	-2.9	-1.4	-4.3	-4.3	-11.4	-25.7	-7.1
製造業	-21.4	28.6	-23.1	14.3	7.1	-7.7	14.3	7.1	-21.4	-14.3	-35.7	-42.9	7.1
卸売業	-40.0	40.0	-10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-20.0	10.0	-40.0	-50.0	20.0
小売業	-60.0	-60.0	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	-30.0	-30.0	-11.1	0.0	20.0	0.0	30.0
サービス業	-21.4	-69.2	30.8	14.3	-7.1	21.4	14.3	0.0	-21.4	-21.4	-21.4	-14.3	7.1
建設業	-15.4	-30.8	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	-30.8	-7.7	30.8	-7.7	0.0	-38.5	-30.8
不動産業	22.2	44.4	11.1	-11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0	-44.4

資金繰り判断 D.I (楽-苦)



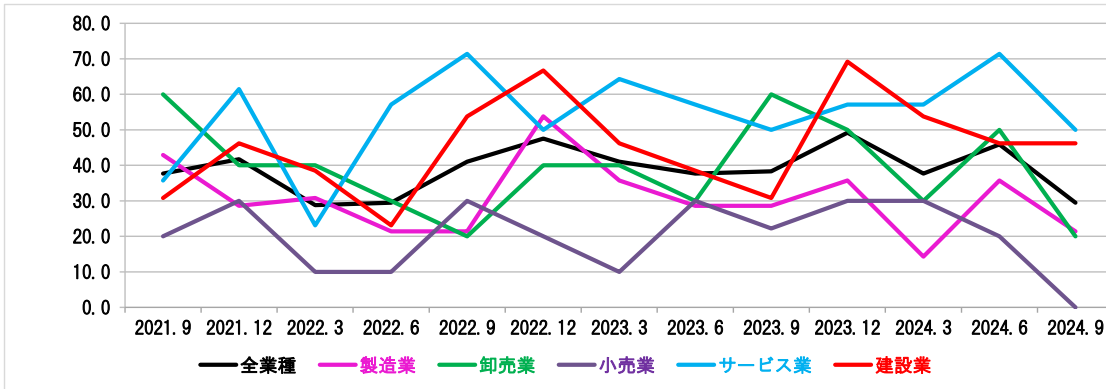
区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9
全業種	-10.0	-15.9	-14.7	-8.6	-11.4	-13.2	-17.1	-17.1	-13.0	-15.7	-14.3	-28.6	-14.3
製造業	-50.0	-42.9	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	-28.6	-28.6	-14.3	-28.6	-35.7	-57.1	-21.4
卸売業	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0
小売業	-30.0	-40.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-30.0	-44.4	0.0	10.0	-30.0	-10.0
サービス業	-7.1	-30.8	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	-42.9	-35.7	-28.6	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7
建設業	15.4	0.0	-23.1	-7.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-15.4
不動産業	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2

人手不足判断 D.I (過剰-不足)



区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9
全業種	-34.3	-49.3	-38.2	-41.4	-48.6	-42.6	-57.1	-55.7	-43.5	-61.4	-52.9	-55.7	-47.1
製造業	-21.4	-50.0	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	-42.9	-64.3	-64.3	-35.7
卸売業	-20.0	-30.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	-40.0	-10.0	-20.0	-40.0
小売業	-40.0	-40.0	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	-50.0	-20.0	-40.0	-10.0
サービス業	-35.7	-38.5	-30.8	-50.0	-57.1	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4	-50.0
建設業	-61.5	-92.3	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	-92.3	-92.3	-84.6	-100.0
不動産業	-22.2	-33.3	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3	-33.3

設備投資実施企業割合 (%)

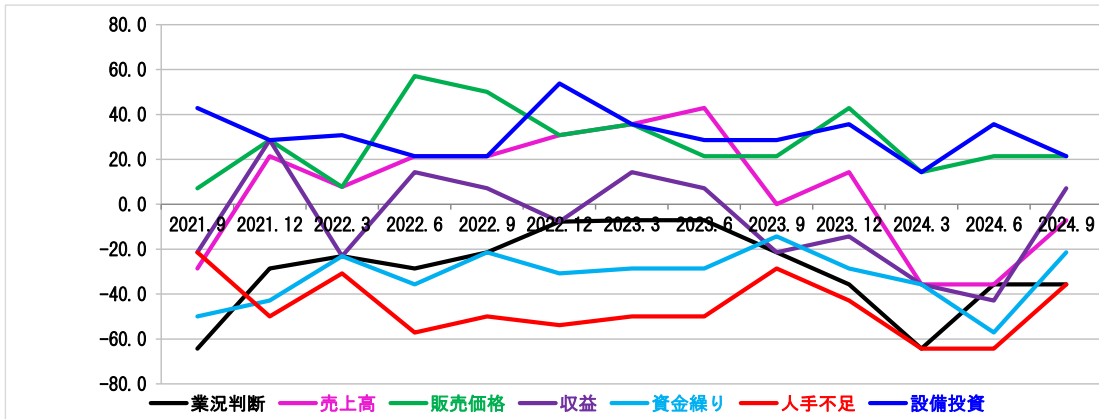


区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9
全業種	37.7	41.7	28.8	29.5	41.0	47.5	41.0	37.7	38.3	49.2	37.7	45.9	29.5
製造業	42.9	28.6	30.8	21.4	21.4	53.8	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3	35.7	21.4
卸売業	60.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0
小売業	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	22.2	30.0	30.0	20.0	0.0
サービス業	35.7	61.5	23.1	57.1	71.4	50.0	64.3	57.1	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0
建設業	30.8	46.2	38.5	23.1	53.8	66.7	46.2	38.5	30.8	69.2	53.8	46.2	46.2

※ 不動産業は、調査対象外である。

業種別時系列表

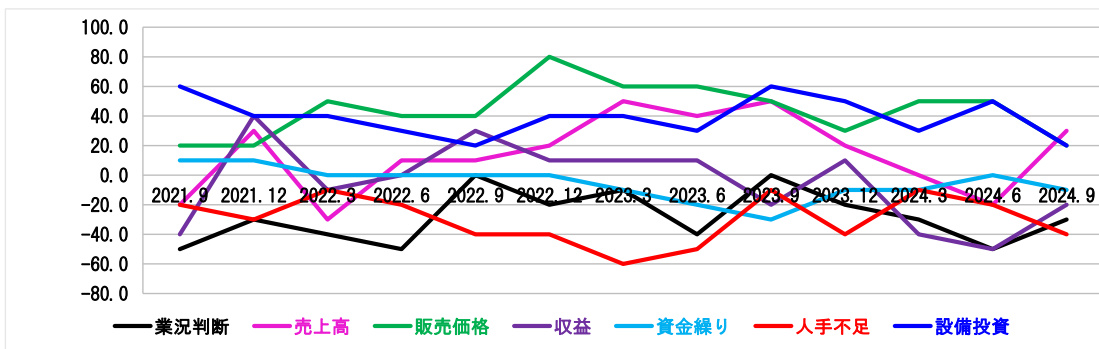
製造業



区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
業況判断	-64.3	-28.6	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-7.1	-7.1	-21.4	-35.7	-64.3	-35.7	-35.7	-42.9
売上高	-28.6	21.4	7.7	21.4	21.4	30.8	35.7	42.9	0.0	14.3	-35.7	-35.7	-7.1	
販売価格	7.1	28.6	7.7	57.1	50.0	30.8	35.7	21.4	21.4	42.9	14.3	21.4	21.4	
収益	-21.4	28.6	-23.1	14.3	7.1	-7.7	14.3	7.1	-21.4	-14.3	-35.7	-42.9	7.1	
資金繰り	-50.0	-42.9	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	-28.6	-28.6	-14.3	-28.6	-35.7	-57.1	-21.4	
人手不足	-21.4	-50.0	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	-42.9	-64.3	-64.3	-35.7	
設備投資	42.9	28.6	30.8	21.4	21.4	53.8	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3	35.7	21.4	

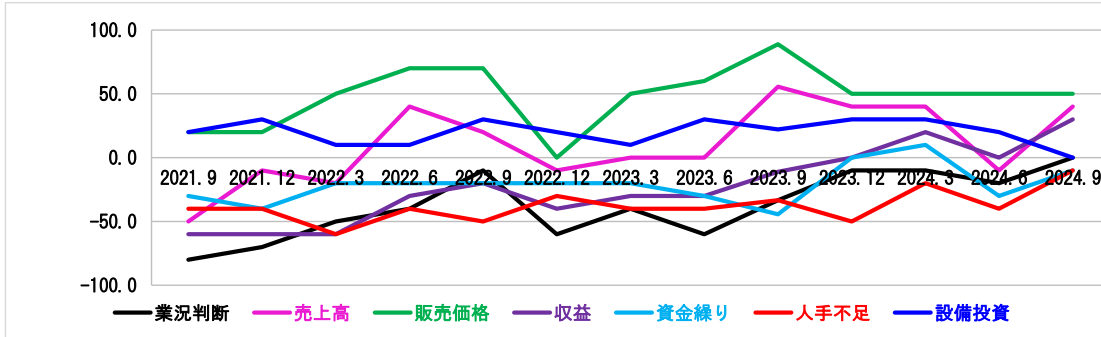
※ 2024.12は、見通しである。

卸売業



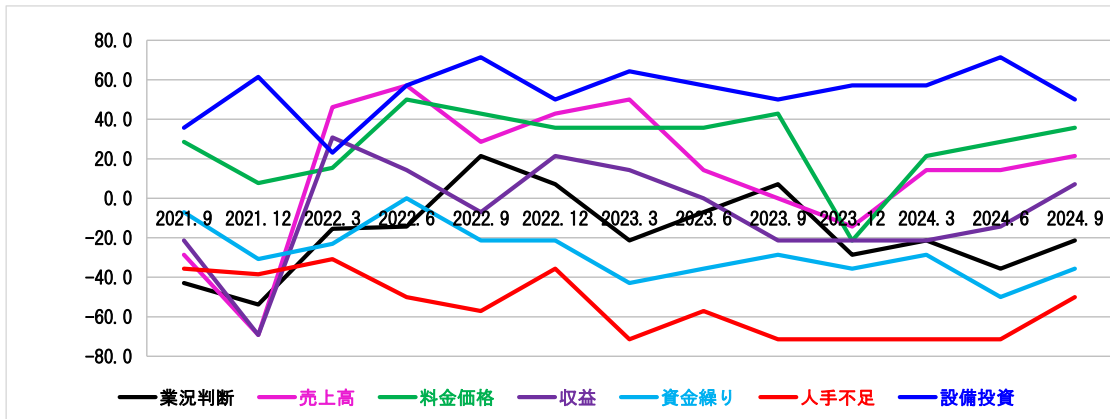
区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
業況判断	-50.0	-30.0	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-10.0	-40.0	0.0	-20.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0
売上高	-20.0	30.0	-30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	40.0	50.0	20.0	0.0	-20.0	30.0	
販売価格	20.0	20.0	50.0	40.0	40.0	80.0	60.0	60.0	50.0	30.0	50.0	50.0	20.0	
収益	-40.0	40.0	-10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-20.0	10.0	-40.0	-50.0	-20.0	
資金繰り	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0	
人手不足	-20.0	-30.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	-40.0	-10.0	-20.0	-40.0	
設備投資	60.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0	

小売業



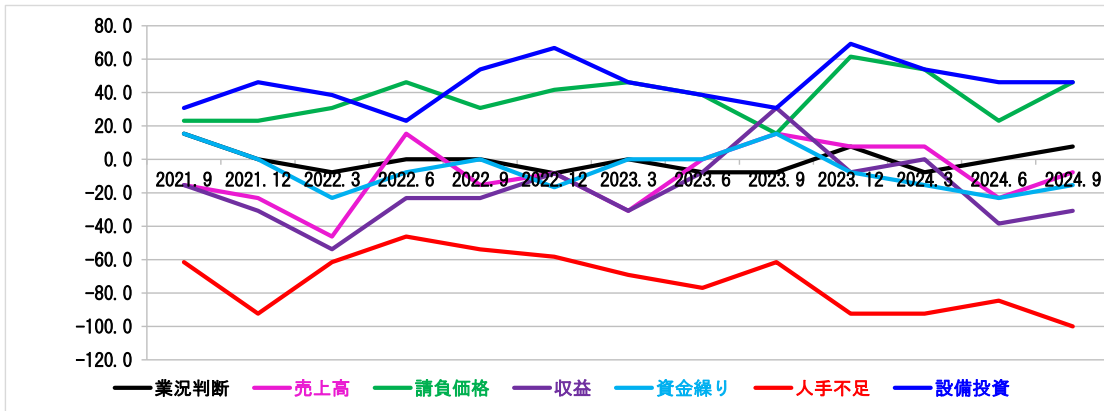
区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
業況判断	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-40.0	-60.0	-33.3	-10.0	-10.0	-20.0	0.0	10.0
売上高	-50.0	-10.0	-20.0	40.0	20.0	-10.0	0.0	0.0	55.6	40.0	40.0	-10.0	40.0	
販売価格	20.0	20.0	50.0	70.0	70.0	0.0	50.0	60.0	88.9	50.0	50.0	50.0	50.0	
収益	-60.0	-60.0	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	-30.0	-30.0	-11.1	0.0	20.0	0.0	30.0	
資金繰り	-30.0	-40.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-30.0	-44.4	0.0	10.0	-30.0	-10.0	
人手不足	-40.0	-40.0	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	-50.0	-20.0	-40.0	-10.0	
設備投資	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	22.2	30.0	30.0	20.0	0.0	

サービス業



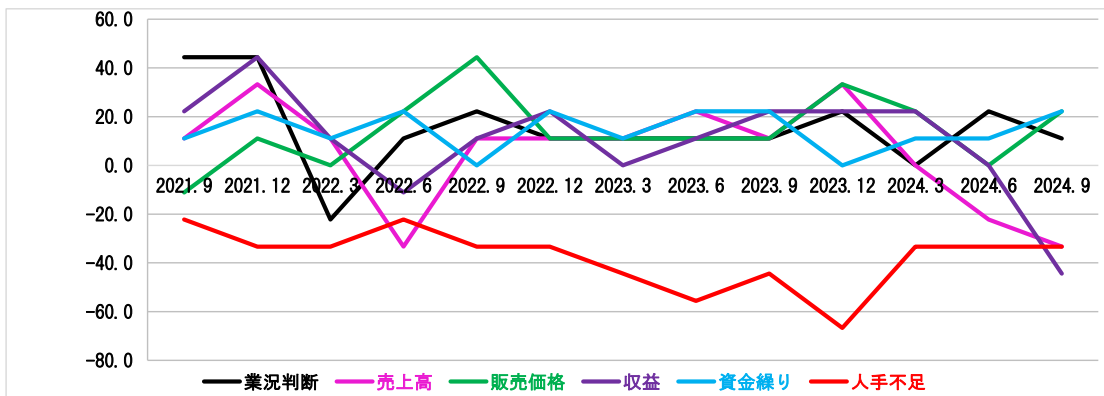
区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
業況判断	-42.9	-53.8	-15.4	-14.3	21.4	7.1	-21.4	-7.1	7.1	-28.6	-21.4	-35.7	-21.4	-28.6
売上高	-28.6	-69.2	46.2	57.1	28.6	42.9	50.0	14.3	0.0	-14.3	14.3	14.3	21.4	
料金価格	28.6	7.7	15.4	50.0	42.9	35.7	35.7	35.7	42.9	-21.4	21.4	28.6	35.7	
収益	-21.4	-69.2	30.8	14.3	-7.1	21.4	14.3	0.0	-21.4	-21.4	-21.4	-14.3	7.1	
資金繰り	-7.1	-30.8	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	-42.9	-35.7	-28.6	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	
人手不足	-35.7	-38.5	-30.8	-50.0	-57.1	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4	-50.0	
設備投資	35.7	61.5	23.1	57.1	71.4	50.0	64.3	57.1	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0	

建設業



区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
業況判断	15.4	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.3	0.0	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	0.0	7.7	0.0
売上高	-15.4	-23.1	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	-30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	-23.1	-7.7	
請負価格	23.1	23.1	30.8	46.2	30.8	41.7	46.2	38.5	15.4	61.5	53.8	23.1	46.2	
収益	-15.4	-30.8	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	-30.8	-7.7	30.8	-7.7	0.0	-38.5	-30.8	
資金繰り	15.4	0.0	-23.1	-7.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-15.4	
人手不足	-61.5	-92.3	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	-92.3	-92.3	-84.6	-100.0	
設備投資	30.8	46.2	38.5	23.1	53.8	66.7	46.2	38.5	30.8	69.2	53.8	46.2	46.2	

不動産業



区分	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12
業況判断	44.4	44.4	-22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0
売上高	11.1	33.3	11.1	-33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	-22.2	-33.3	
販売価格	-11.1	11.1	0.0	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2	0.0	22.2	
収益	22.2	44.4	11.1	-11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0	44.4	
資金繰り	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	
人手不足	-22.2	-33.3	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3	-33.3	

※ 設備投資は、調査対象外である。

中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応について ※抜粋

活用しているキャッシュレス支払手段			インターネットや電子メールの利用状況			
項目	全国	南房総		項目	全国	南房総
クレジットカード	37.9%	43.9%	インターネット利用	利用しており、自社HPも開設	61.8%	77.6%
デビットカード	2.6%	7.6%		利用しているが、自社HPは未開設	22.8%	10.4%
QRコード決済	15.0%	16.7%		利用していないが、今後利用したい	4.4%	3.0%
電子マネー(交通系・流通系)	8.2%	15.2%		利用することは考えていない	11.0%	9.0%
プリペイドカード	0.9%	1.5%				
デジタル通貨(地域電子通貨・暗号資産)	0.5%	0.0%	電子メール利用	利用している	83.2%	91.0%
口座振替(自動引落)サービス	31.2%	36.4%		利用していないが、今後利用したい	5.8%	4.5%
電子記録債権(でんさい等)	16.4%	7.6%		利用することは考えていない	11.0%	4.5%
活用していない・関係ない	35.8%	31.8%	「インターネットや電子メールの利用状況」については、約8割が「インターネットを利用しており、自社HPも開設」と回答している一方で、「インターネットを利用することは考えていない」は約1割いるという結果となった。 電子メールについては、全国・南房総地域ともに約8～9割が「利用している」という結果となった。			
「活用しているキャッシュレス支払手段」については、「クレジットカード」が全国・南房総地域ともに最も多かった。一方で、「電子マネー(交通系・流通系)」は、全国が8.2%であったのに対して、南房総地域は15.2%という結果となった。また、「活用していない・関係ない」と回答した人が約3割いるという結果となり、業種別では建設業・不動産業で多く見られた。						

インターネットバンキングの契約有無とその理由

	項目	全国	南房総	
契約している	夜間や休日でも利用できる	13.9%	9.2%	「インターネットバンキングの契約有無とその理由」については、インターネットバンキングの利用状況は、69.2%が「契約している」と回答した。契約している企業の理由については、「金融機関の店舗に行く必要がない(26.2%)」が最も多く、「社内全体のIT化・事務負担軽減(15.4%)」が続いた。一方、契約していない企業の理由については、「利用する機会がない(10.8%)」が最も多かった。また、「パスワード管理等操作が面倒」、「セキュリティに不安がある」の合計は全国6.6%に対して、南房総地域は13.9%という結果となった。
	社内全体のIT化・事務負担軽減	18.3%	15.4%	
	残高管理が容易である	14.8%	12.3%	
	金融機関の店舗に行く必要がない	21.4%	26.2%	
	契約しているがほぼ使っていない	2.3%	6.1%	
契約していない	金融機関職員が訪問するから不要	7.8%	4.6%	
	パスワード管理等操作が面倒	2.9%	7.7%	
	セキュリティに不安がある	3.7%	6.2%	
	利用する機会がない	13.0%	10.8%	
	インターネット利用環境がない	1.9%	1.5%	

<調査の概要>

- ①調査時点: 令和6年(2024年)9月2日～6日
- ②調査方法: 当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。
 なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法: 各質問項目で「増加」(上昇したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降したとする企業の構成比との差(D.I.))を中心に分析。
- ④調査地域: 当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業: 全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数: 全国14,752企業(有効回答数13,129企業・回答率89.0%)
 千葉県322企業(有効回答数307企業・回答率95.3%)
 南房総地域 70企業(有効回答数70企業・回答率100%)

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。

「たてしん」近況のご報告

地域課題について考える 安房高校でワークショップ



7月16日、館山市の安房高校で地元の事業者や自治体職員から、地域課題への取組みを聞くワークショップが開かれました。1年生約200人が10事業者の経営者や社員などから取組み内容を聞き、地域の課題や将来の働き方を考えました。当金庫は企画段階から協力を行い、希望者約50名へ地域課題に対する館山信用金庫の取組みについて講義を行いました。

第43回信用金庫PRコンクール 優秀賞を受賞



7月17日、当金庫のSDGs活動をPRするポスター「未来へ絆ぐ〜人も樹も育てています〜」が「第43回信用金庫PRコンクール」（全国信栄懇話会主催）で優秀賞を受賞し、表彰式が行われました。「信用金庫PRコンクール」とは、イメージ・認知度アップなどを目的とした全国の信用金庫のPR関連作品を対象としたコンクールです。当金庫は前年もカレンダー部門で優秀賞を受賞しており2年連続での受賞となりました。

金融出前講座 館山市職員を対象



8月13日、当金庫支援部職員が講師となり、館山市職員を対象にした金融出前講座を開催しました。森正一市長をはじめ職員ら27人が、カードゲーム「from Me」を通して自身の幸福度の向上や社会問題の解決とお金の使い方が関連していることを学びました。「経済的に豊かになりたい」「社会問題を解決したい」等の同じ価値観を持った方がチームになって、カードゲームを通して寄付や投資などをしながらゴールを目指し、お金の使い方や地域経済循環について考えを深めました。

「里見の日」 記念日認定登録



9月1日、(一社)日本記念日協会において、3月13日が「里見の日」として記念日認定登録されました。登録の申請は「里見のまちづくり実行委員会」が行い、地域一体となっての盛り上げりを当金庫も応援するため、地域貢献事業として「ふるさと応援ファンド」を活用し、記念日登録料を寄付しました。10月14日に開催された館山市主催の里見シンポジウムの会場において、「里見の日(3月13日)」記念日登録の報告が行われました。

「房創人財育英基金」 意見交換会を開催



9月12日、「房創人財育英基金」の大学生モニター制度の上期意見交換会を開催しました。大学生モニターがオンラインでレポート発表し、基金会員らと意見を交わしました。学生がレポート発表し、学校統合や道の駅の社会的効果、農林業分野への先進技術の導入など、それぞれがテーマに沿って調べた内容について報告しました。その後の意見交換会では、レポートで取り上げられた内容について、企業会員らが地域の実例を紹介していました。

「安房国司祭 鶴谷八幡宮例大祭(やわたんまち)」 飲み物等で参加者らをおもてなし



9月14日・15日、千葉県無形民俗文化財に指定されている「安房国司祭 鶴谷八幡宮例大祭(やわたんまち)」が行われ、14日には本店駐車場に7基の神輿が立ち寄り、飲み物等で参加者らをおもてなししました。

当日は市内に神輿や山車が繰り出し、威勢のいい掛け声や見物客らの声で館山が祭り一色に染まりました。そして、神輿を大きく振る「もみ」や高く持ち上げる「さし」を披露し、大盛り上がりを見せました。

第4回 みんな集まれ! たてしんファミリー映画会



「ミニオンズ」のイルミネーションが贈る
極上のライブ体験、開幕!!

2024. **12.15** 日

	開演	上映時間
午前の部	10:00	10:30~12:30
午後の部	13:30	14:00~16:00

入場
無料

千葉県南総文化ホール 大ホール

本賛  館山信用金庫

後援 鎌山市/鎌山市教育委員会/鶴川市教育委員会/南房総市教育委員会/
館南町教育委員会/ 館房州日日新聞社/ (一社)関東信用金庫協会

地域の子育て支援の一環として、家族で楽しめるひとときを提供する「たてしんファミリー映画会」を今年も開催します！館山信用金庫各営業店にて入場整理券をお申し込みください。ぜひご来場いただき、お子さんとの楽しい時間をお過ごしください！

11/1より受付開始・午前午後ともに先着1000名・入場無料